



R4、8
(学) 阪急学園

夏休み期間中は、外出の機会が増えます。熱中症や感染 予防に気をつけて楽しみましょう。



夏場の日焼け・熱中症に注意！！

～特に幼児は体温調節機能が未発達で、

地面からの輻射熱の影響も大きく受けます～

体の小さい幼児は大人に比べて体内の水分量が少なく、地面からの熱の影響も受けやすいので、外気温が高いと体温も上がりやすくなります。

幼児は大人に比べて暑さを感じてから汗が出るまでに時間がかかるのでこまめな水分補給が必要です。汗が出なくなってしまうと体温を下げることができなくなり、あっという間に重篤な熱中症につながる危険があります。

8月7日は鼻の日！鼻血の適切な止め方

8月7日は、「鼻の日」です。鼻血の多くは、鼻の入口の数mm～1cmくらいの粘膜（キーゼルバツハ部位）から出ます。指で触るなどの刺激で出血するほか、原因が特に見当たらない場合にも毛細血管から出血することがあります。

その場合にはまず、椅子などに座らせて、少し下を向けさせます。次に、小鼻をつまんで約10分間ほど圧迫します。上を向いたり、仰向けにすると血液が胃に入り嘔吐することがあります。30分間圧迫止血しても止まらない、何度も繰り返すなどの場合は、耳鼻咽喉科を受診しましょう。



水で膨らむ樹脂製のおもちゃの誤飲に注意

国民生活センターは水で膨らむ樹脂製のおもちゃの誤飲に対する注意喚起を行いました。乳幼児が水で膨らむ樹脂製おもちゃを誤飲して腸閉塞を起こし開腹手術に至る事故が複数あり、海外では死亡事故も報告されています。水で膨らむ樹脂製のおもちゃを使用する場合は、必ず保護者監督のもとで使用、保管するようにしてください。また、誤飲に気付いた時や疑われる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。